



吐く息も白くいよいよ本格的な冬を迎えます。今年もあと1ヶ月になり、慌たしくもクリスマスソングに心躍らせてしまいます。当クリニック内もクリスマスの飾りつけにないイルミネーションも灯りました。子ども達の喜び顔があちらこちらで見られ嬉しい限りです。春から秋にかけては当クリニック内で講演会を実施いたしました。秋から春にかけてはマナアンドベビーこどもクリニック通信にて情報提供をしていきたいと考えております。子ども達と同じように一つ一つ経験を積み重ね少しずつ成長していきたいと思っております。

また、当クリニックを信頼し、ご利用いただきましたみなさまにこの場を借りて感謝を申し上げます。

< 新型インフルエンザ患者累計1千万人超える >

11月16日～22日の1週間に、インフルエンザで全国の病院などを訪れた患者は、一つの医療機関当り38.89人(前の週は35.51人)だったと国立感染症研究所が発表、ほとんどが新型インフルエンザとみられます。7月上旬以降、累計の患者数は約1075万人となり1000万人を超えました。

< 新型インフルエンザについて >

当院でも新型インフルエンザワクチンの接種が基礎疾患のある方優先で行われています。12月3日からは国が定める順番で接種が行われます。詳しくは当院ホームページ・アイチケットをご覧ください。ご希望があれば、季節性ワクチンと同時接種もできますので、お申し出ください。例年の季節性ワクチンを受けている人は新型インフルエンザにかかっても重症化しにくいというデータもできました。

< この冬は暖冬…気象庁予報 >



今年の冬(2009年12月～2010年2月)は、全国的に暖冬になりそうという予報を気象庁が発表しました。エルニーニョ現象(太平洋赤道付近の海面温度が高く続くこと)で冬型の気圧配置が長続きしないためといえます。日本海側の雪も少ない見込みです。気温が下がると毎年増えるといわれる季節性インフルエンザにも少し影響があるかもしれません。…ということは、少ないということ???…だといひのですが

< 小児科のある病院が減っています >



小児科のある病院や診療所が減っています。(福岡県は比較的恵まれているのですが…)

厚生労働省によると2008年全国の一般病棟7714施設のうち小児科があるのは、2905施設で38%、10年以上にわたって減り続け前年に比べ、110の減。診療所は2万2503施設で3年前より2815施設の減。こどもは体調が急に変わりやすいため夜間の診療も多く小児科の医師の仕事が厳しいことや、他の科と比べ女性医師の割合が3割と多く、出産や育児で辞めることなどが影響していると考えられます。そんな中で、院長の東川も医師の久保田も頑張っています。いつも患者さんからかけていただく、励ましの言葉が身にしみるといっています。ありがとうございます。

マナアンドベビーこどもクリニックでは、小さなこどもの可能性を信じ見守りたいと思っております。スタッフはみんなこども達が大好きです。こどもが泣いていても、怒っていてもその全てがいとおいと思えます。繁忙期に入り皆様には待ち時間等でご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますがよろしくお願いします。